

世界の水不足に 海水を活用

世界的な水不足の対策として期待されているのが海水の利活用。
発電所やプラントの冷却水や、淡水化して飲料用としても使われています。
そこで活躍しているのが、エバラの海水ポンプ。
腐食に強いポンプが、海水の取水や施設での水の移送をしています。



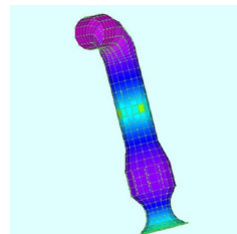
環境に最適な材料選定

海水を扱うポンプを悩ませる腐食の問題。海水温や塩分濃度が異なる世界の海。エバラは、日本国内をはじめ、中東や米国でのポンプ材料の海水腐食実験など豊富な知見を持っています。それぞれの海水環境での最適な材料選定と蓄積した製造技術を駆使し、腐食に強いポンプを製造しています。



二相ステンレス製ポンプ

エバラ独自の防食解析技術



ポンプの電位分布
(腐食予測) 解析例

ポンプには、いろいろな材料が組み合わされて使用されます。それらの材料がお互いに影響し合って腐食が起こることがあります。エバラは、大学と共同で開発した腐食予測の数値解析技術を用い、効果的な防食方法を提案することができます。